# 年末·年始特別防火運動実施要綱

#### 目的

この運動は、本格的な冬の到来により、暖房器具など火気を使用する機会が増え、年末の慌ただしさから日常的に使用している火への警戒心が低下することで、火災の発生が一層懸念される時季を迎えるにあたり、事業所関係者及び市民一人ひとりの防火意識の高揚を図ることをもって、火災の発生を未然に防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として実施するものです。

#### 全国統一標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

#### 実施期間

令和6年12月20日(金)~ 令和7年1月3日(金)

#### 重点実施事項

- \* 住宅防火対策の推進
- \* 放火防止対策の推進
- \* 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

### 消防機関の推進事項

- \* 広報車による巡回防火広報の実施
- \* 物品販売店舗、飲食店、遊技場等の特別査察
- \* 地域ぐるみの自主防災体制づくりの推進

# 住警器設置で 安全な暮らし



## 家庭や地域での推進事項

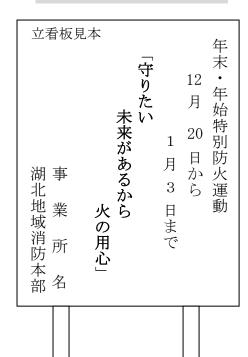
- ☆ 住宅用火災警報器を点検しましょう。
- ☆ ストーブ等には燃え易いものを近づけないようにしましょう。
- ☆ たばこの投げ捨てや寝たばこは絶対にやめましょう。
- ☆ 災害時要援護者等の避難に地域ぐるみで協力しましょう。
- ☆ 天ぷら油等による出火防止に努めましょう。
- ☆ 夜廻り等を積極的に実施し、地域防火の輪を広げましょう。
- ☆ 放火されない環境づくりに努めましょう。



火災の早期発見、早期避難のために<u>住宅用火災</u> 警報器を必ず設置しましょう。

住宅用火災警報器は、設置から10年以上が経過すると、電池の寿命や本体内部の劣化などで不具合が発生しやすくなります。そのため、本体の交換をお奨めします。

## 事業所での推進事項



- ☆ 年末・年始の混雑が予測される事業場の防火管理体制の強化と有事の際の対応策を事前に検討しておきましょう。
- ☆ 防火設備や消防用設備等の点検整備を徹底しましょう。
- ☆ 年末・年始に無人となる事業所の放火防止対 策を徹底しましょう。
  - ·軒下、階段下等を整理、整頓しましょう。
  - · 倉庫、物置には必ずカギをかけましょう。
  - ·休日、夜間等の警戒体制を強化しましょう。
  - ·最後に退社する者は、火気と施錠の確認をしましょう。

# 構内放送や社内報などを活用して

火災予防を呼びかけましょう。

## 【放 送 文 例】

只今、湖北地域消防本部では、年末·年始特別防火運動が展開されています。 皆さんひとり一人が、それぞれの持ち場の防火に努めるとともに、終業時には、 「守りたい 未来があるから 火の用心」を合言葉に、火の元の点検を励行しま しょう。

# 火事・救急・救助は119







防火に関する問い合わせは 湖北地域消防本部予防課 または最寄りの消防署まで

予 防 課	Tel 62-5194
長浜消防署	Tel 62-9194
米原消防署	Tel 55-0108
東浅井分署	Tel 73-2561
伊香分署	Tel 82-2361

# 電気火災 に 注意しましょう!

毎年、電気器具の誤った取り扱いなどにより火災が発生しています。 思わぬところに潜在的な火災リスクがありますので、 普段から点検・清掃を適切に行い、電気火災を予防しましょう。

□ コンセントのホコリと湿気に注意

ホコリと湿気により、電気プラグの両極間に電気の通り道ができ 火花放電が発生するトラッキング現象が原因で出火する可能性があります。

□ タコ足配線にしない

電気コードは一度に流せる電気量が決まっています。タコ足配線により 容量を超えて一度に多くの電気製品を使用すると、発熱して出火する可能性があります。

□ 電気コードを束ねて使用しない

電気コードを束ねて使用すると、コードから発生する熱がたまり、 コードの被覆が溶けて出火する可能性があります。



# さらに… 災害時には、通電火災に注意!

「通電火災」とは、地震や台風等の自然災害による停電から、電気が復旧する際に発生するおそれがある火災のことです。 災害発生時には、まず自分の安全を確保した後、 使用中の機器のスイッチを切り、電源プラグを抜いておきましょう。 屋外に避難(外出)する時は、分電盤のブレーカーを切りましょう。



政府広報オンライン(動画)

<問い合わせ先>

湖北地域消防本部 予防課 0749-62-5194